

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
安心・安全な学校づくり	(全校レベル) II) 事故防止、感染症予防対策の徹底 <下位組織レベル> ① 事故防止、感染症予防対策の徹底	①「スポーツの日」と「学校祭」において、事故を防止し、感染症予防対策を徹底して、計画、運営することができる。	①「スポーツの日」は、事故や感染症予防対策を徹底して、計画、運営することができた。「学校祭」は、直前に中学部で感染症の感染が拡大し、中学部が臨時休業となったが、小学部、高等部においては、感染症予防対策を徹底して、計画、運営することができた。	(評定) B (所見) 体育の日については、昨年度の詰書を踏まえ、実施日を1週間後ろにずらしたことで熱中症のリスクが下がった環境で、練習、実施することができた。感染症対策も、適切に行うことができた。 学校祭については、計画案を2段階で提案し、準備を進めた。感染症対策を昨年度と同じレベルに行い、学校祭一週間前の職員会議で感染拡大予防対策の徹底をよびかけたが、一部で感染が拡大し、中学部は当日臨時休業となった。生徒が放課後に利用する施設で感染が広がったものと考えられ、学校だけでは感染拡大を防止することは難しいと考えた反面、小学部、高等部では感染が拡大しなかったため、感染症拡大予防対策の方向性には間違いはなかったと考えられる。	別紙 次年度は、感染症に感染した人や、感染症に感染した可能性がある人が出た場合の対応の仕方、特に注意喚起の仕方や対応マニュアルについて見直すとともに、家庭や関係機関との連携の取り方についても検討する必要がある。
		①-1 関係教科等と事前協議した上で、特別活動課において事故防止対策と感染症予防対策を最優先に考えて協議し、「スポーツの日」と「学校祭」の原案を作成する。	①-1 「体育の日」については、7月3日の特別活動課会で協議し、原案を作成した。「学校祭」については、9月4日の特別活動課会で協議し、原案を作成した。		
		①-2 作成した原案を学部会、運営委員会と協議、調整した上で、職員会議に提案し実施計画(要項)を作成する。	①-2 「体育の日」については、7月4日の学部会、7月14日の運営委員会と協議して調整し、実施計画を作成した。「学校祭」については、9月5日の学部会9月8日の運営委員会と協議して調整し、実施計画を作成した。		
		①-3 実施計画(要項)を基に、各学部や係の進捗状況を確認する。懸念事項や協議事項が生じた場合には、その都度管理職等と相談しながら修正する。修正事項や共通理解事項が生じた時には職員会議等で連絡し、共通理解を図りながら準備を進める。	①-3 「体育の日」については、暑さ対策や練習の状況について連絡を取り合い、微調整を行った。「学校祭」については、10月4日の特別活動課会で第2次案の原案を作成し、10月12日の運営委員会、10月16日の職員会議で協議、決定するなど、調整と共通理解に努めた。		
	①-4 直前に各学部や係ごとに最終確認するよう依頼する。保護者や全教職員に確認事項を改めて周知し、認識や行動にズレや違いが生じないようにする。	①-4 校務分掌ごとに割り振りしている業務については、各課長等と連携を図った。体育や美術等、教科や個人に割り振りしている業務については、教科主任等と連携を図った。学校祭の一週間前の職員会議で感染症予防対策の徹底を注意喚起した。			
地域とともにある学校づくり	(全校レベル) I) 地域と連携した教育活動の推進 <下位組織レベル> ① 地域交流及び地域貢献活動の展開	①児童生徒会役員を中心に、地域の催し等に参加したり作品や製品を展示したりして、地域の人々と交流する機会を3回以上設けることができる。	①「阿南西部公園七夕まつり」と「活竹祭」に竹紙の作品や災害時簡易トイレを展示して、地域の人々と交流することができた。(予定)	(評定) B (所見) 竹紙の作品や災害時簡易トイレの展示を通して、地域の人々と交流することができた。とくに活竹祭では、児童生徒会役員が積極的に広報活動に取り組み、質問等にも丁寧に答えるなど、地域の人々との交流を活発に図ることができた。生徒たちは、地域の人々との交流を楽しんでいるように見受けられた。また、地域の人々にも好意的にかかわっていた様子、活動を実施してよかったという手応えを感じた。(予定) 阿南市学童展では、阿南市内の小学校、中学校から出展された作品と並んで展示することができた。見学に行った保護者からは、素晴らしい展示だったと好評を得た。	別紙 次年度は、地域の催しに参加する機会や作品を展示する機会をさらに増やしたい。また題材についても、竹紙や災害時簡易トイレに限らず、他の作業作品や美術作品を増やし、パリエーションを広げたり、参加児童生徒を増やしたりすることも考える必要がある。本校や本校の児童生徒が、阿南市を中心とした地域の人々に親しまれたり、地域に貢献できたりするような展開を拡げたい。(予定)
		①-1 児童生徒会役員を中心に、大野地区の祭りに参加する。	①-1 日程の都合で、児童生徒会役員は参加できなかったが教職員が参加し、竹紙の作品や災害時簡易トイレを展示し、地域の人々と交流することができた。		
		①-2 児童生徒会役員を中心に、阿南市活竹祭に参加する。	①-2 児童生徒会役員4名と普通科竹紙班の生徒2名の合計6名が参加し、竹紙の作品や災害時簡易トイレを展示し、地域の人々と交流することができた。(予定)		
		①-3 地域の施設等で、本校の美術作品や作業製品を展示する。	①-3 阿南市文化会館で実施された「阿南市学童展」に、小学部児童が図工や生活単元学習でつくった作品を展示した。		

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった